

Labo News

新春を迎えて



愛知県知事 大村 秀章

らぼ ニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座 731-677
 発行人 梶山 広美
 編集人 山田 真

No.406 目次

- ◆年頭挨拶 大村秀章…………… (1)
- ◆年頭挨拶 松本一年…………… (2)
- ◆年頭挨拶 梶山広美…………… (2)
- ◆選挙管理委員会報告…………… (3)
- ◆平成28・29年度
副会長候補者選出選挙公示…………… (3)
- ◆平成27年度全国検査と健康展 …… (4)
- ◆管理運営研修会を開催して…………… (6)
- ◆愛臨技精度管理「結果検討会」に参加して… (7)
- ◆平成27年度
尾張北地区・生殖医学研究班合同研修会を終えて… (7)
- ◆微生物班基礎講座に参加して…………… (8)
- ◆地区研修会・研究会のご案内
尾張南・東三河・西三河地区…………… (9)
- ◆講演会・研究会…………… (10)
- ◆一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
平成27年度臨時総会議決権行使のお願い… (12)

あけましておめでとうございます。

昨年、リニア中央新幹線、燃料電池自動車FCV、ジェット旅客機MRJという、日本の未来を創るプロジェクトが大きく動き出した年でした。

日本の中心に位置する愛知県は、日本一のTechnology（技術）とTradition（伝統）を誇る我が国の産業の中心地、まさに“Heart” of JAPANです。今年、この愛知の強みをさらに進化させる年にしたいと思います。

2027年度のリニア開業を前に、鉄道・道路などの社会基盤を着実に整備し、「中京大都市圏」づくりを進めるとともに、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、さらには農林水産業の振興などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

また、そのための「人財力」を強化するため、モノづくり人材の育成、女性の活躍促進、高齢者や障害のある方々への支援の充実など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

さらには、福祉・医療、防災、環境、スポーツ、東三河地域の振興などにも力を注ぐほか、5月の伊勢志摩サミットなど様々な機会を捉え愛知の魅力を国内外に積極的にPRしてまいります。

そして、今年、あいちトリエンナーレ、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭と続く「芸術・アートの年」です。多様な魅力あふれる文化芸術作品をお楽しみください。

引き続き、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成28年元旦

新年を迎えて



愛知県健康福祉部
保健医療局長
松本 一年

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

愛知県臨床検査技師会の皆様方には、本県の健康福祉行政の推進につきまして、日頃から格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会は、昭和62年4月に社団法人として活動を始められ、これまで25年以上の長きにわたり、臨床検査及び衛生検査に携わる県内唯一の技術者集団として、知識及び技術の研さんに努められるとともに、衛生思想の普及・啓発を通じて、県民の健康の保持及び増進に貢献してこられました。

これも、ひとえに会長をはじめとする役員の皆様や会員の皆様方のたゆまぬ努力によるものと心から敬意を表するとともに、今後の更なる御活躍を

大いに期待しております。

さて、平成28年4月1日から感染症法施行規則の一部改正に伴い、感染症の原因究明や疫学調査等を目的とした1類感染症から5類感染症の病原体検査について、標準作業書の作成や精度管理の実施等が義務づけられ、定点医療機関、衛生研究所及び保健所における病原体検査の信頼性を確保するための機能強化が図られますので、適切な対応をお願いいたします。

また、皆様方が従事される医療分野についても、近年、信頼性の高い科学的指標に基づく良質な医療の提供をすることが強く求められており、疾病の診断・治療を適切に実施していくためには、正確かつ迅速な臨床検査が不可欠であり、その重要性は益々高くなっております。

臨床検査の専門家である皆様方におかれましては、県民の健康の保持及び増進のため、今後とも知識・技術の研さんに努められ、正確な検査を行って頂くよう、より一層御尽力お願い申し上げます。

本県といたしましても、安全で安心して健康に過ごすことのできる社会の実現に向けて、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き健康福祉行政への御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の御健康と貴会の一層の御発展を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。平成28年 元旦

年頭のごあいさつ



公益社団法人
愛知県臨床検査技師会
会長 **栢山 広美**

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

愛知県臨床検査技師会は、公益社団法人として県民の健康増進と公衆衛生向上のために精度の高い臨床検査を提供するための専門的知識・技能の普及や人材育成に力を入れることはもちろん、医療関連施設への臨床検査精度向上の推進及び支援を今年も取り組んで参ります。平成27年度より部門ごとに中・長期事業計画を策定することで取り組む内容を明確化し会の運営を進めてまいりました。平成28年度も引

き続き計画に沿って実施していきたいと思っております。

臨床検査の質の向上には、臨床検査技師が専門性を高め、役割を果たすための自己研鑽を積むことや継続教育が必要です。少子化・超高齢化の時代を見据え、今後ますます臨床検査技師は、チーム医療の中で活躍していかなければなりません。

当会は、今年度会員数も3,000人を越え、大きな職能団体となりました。会員の皆さまから信頼され、望まれる活動を推進していきます。また、県民への臨床検査技師の認知度向上への取り組みや女性技師の活躍推進も行っていきます。

政府は、「財政健全化」を目的に、診療報酬をはじめ社会保障費の抑制を目指しており、今年の診療報酬の改定は、臨床検査にとって厳しい状況となる事が予想されます。我々臨床検査技師は、医療の一端を担う医療者としての自覚を持ち、県民の健康のための活動をしっかり行っていきます。それら全ての事業は会員の皆さまのご理解とご協力があればこそ実現するものと信じております。まずは目の前の課題にひとつひとつ着実に取り組んで参ります。

本年も愛知県臨床検査技師会へのご協力とご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

選挙管理委員会報告

選挙管理委員は各地区から選出され、平成27年度第9回理事会の承認を経て下記の方に委嘱されました。

地区名	氏名	施設名
尾張西地区	西谷由美子	総合大雄会病院
尾張北地区	近藤 正伸	中日新聞社健康保険組合 中日病院
尾張東地区	瀧本 淳	公立陶生病院
尾張南地区	山田 貴之	名古屋市立大学病院
知 多地区	新美 宗彦	公立西知多総合病院
西三河地区	深見 浩史	社会医療法人 財団新和会 八千代病院
東三河地区	濱田 智博	豊橋市民病院

公益社団法人愛知県臨床検査技師会
会 員 各 位

27愛臨技選管発第2号
平成28年1月1日

公益社団法人愛知県臨床検査技師会
選挙管理委員会委員長 新美 宗彦

平成28・29年度副会長候補者選出選挙公示

公益社団法人愛知県臨床検査技師会平成28・29年度副会長候補者を選出するにあたり、選挙管理規程第10条により選挙を行います。平成27年12月8日に選挙管理委員会を開催し、以下の内容で進めていくことに致しました。選挙管理規程は愛臨技HPに掲載してありますのでご覧ください。

記

1. 選挙の内容

本選挙は下記立候補者より副会長候補者3名を選出する選挙です。
略歴及び立候補趣旨につきましては、別刷りの選挙公報をご覧ください。
<副会長候補理事立候補者>

- 中 根 生 弥 (厚生連豊田厚生病院)
- 岡 田 元 (厚生連安城更生病院)
- 藤 田 孝 (藤田保健衛生大学病院)
- 所 嘉 朗 (愛知県がんセンター中央病院)
- 岩 尾 文 彦 (国立病院機構名古屋医療センター) 届出順

2. 選出方法

投票用紙による1人1票です。投票用紙は、2月1日に発送します。

3. 投票開始日

平成28年2月1日(月)

4. 投票受付期間

平成28年2月1日(月)～平成28年2月29日(月)(必着)
投票受付方法は、投票用紙と同時にご案内いたします。

5. 開票日

平成28年3月1日(火) 愛臨技事務所にて

6. 選挙人名簿閲覧

期間：平成28年1月1日(金)～平成28年3月1日(火)

場所：愛臨技事務所

時間：土日祝日、年始(1月1～4日)、12～13時を除く平日10時～16時

以上

平成27年度 全国検査と健康展

組織部長 岩尾 文彦

平成27年11月3日(火・祝) イオンモール熱田店 1F正面イベントスペースにて開催致しました。今年は、昨年の反省点を踏まえながら本来の主旨である臨床検査技師という職業を広め、また、将来の臨床検査技師を担って頂くお子さん達に興味を持って頂くことを考えた体験型企画を実施致しました。来場者数延べ人数853名を記録し、今回の目玉である臨床検査技師体験ゾーンでは、小さいお子さんや中高生の方々が来場し、白衣を着てピペット操作の実

技や超音波でゼリー果物がどのように見えるか等を体験して頂きました。また、今回初めて臨床検査技師養成校の学生さんにも参加して頂きましたが、技師会活動の一環として公益活動の重要性についても理解して頂いたのではないかと思います。最後に、参加した実務委員からは来年の企画案を耳打ちされ、思わず臨床検査技師ゾーンが混雑する状況を妄想してしまいました。



検査と健康展に参加して

名古屋第二赤十字病院 医療技術部 岩田 英紘

11月3日にイオンモール熱田で開催された「検査と健康展」に初めて参加させて頂きました。私は、お子さんを対象とした「自分の細胞をみてみよう」のコーナーを担当しました。その場で口腔内の細胞を擦過させてもらいスライドガラスに塗り、染色して顕微鏡でみました。自分の細胞を食い入るように見たり、うれしそうにはしゃいだり、興味を持って質問したりする姿が非常に印象的でした。親御さんの中には、記念にとモニターに映った我が子の細胞をシャッターに収めている方もいらっしゃいました。また、私たちが普段どんな仕事をしているのか、検査で何がわかるのかなどの質問もあり、臨床検査技師のアピールにも繋がったと思います。

他のコーナーも大盛況で、市民の方々の健康や検査に対する関心の高さを感じました。今回の経験を生かして、今後も臨床検査技師として患者さんにわかりやすく検査説明できるように、知識とコミュニケーション能力を磨いていこうと思います。

藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科 4年 水谷 南遥・粕田 陽佳

平成27年11月3日(火) イオンモール熱田で開催された「検査と健康展」に学生スタッフの一員として参加させて頂きました。呼び込みのお手伝いをする中で、臨床検査技師という職業について知らない方に多く出会い、臨床検査技師の認知度の低さを感じることもありました。しかし実際に体験していただいた方からは、「臨床検査技師について知ることができた」、「これから自分の身体についてもっと知ろうと思った」という声をかけていただきとても嬉しかったです。「検査と健康展」は臨床検査技師について多くの方々に知っていただき、臨床検査を身近に感じていただく良い機会だと実感しました。これからもこのような活動を行っていくことで、定期的な健康診断の受診や健康づくりへの意識向上、及び臨床検査の世界や臨床検査技師について興味を持ってくれる人が増えていくと嬉しいです。

来年はいよいよ社会人として新たな生活がスタートします。今後もこのような活動の場があれば、積極的に参加したいと思います。



管理運営研修会を開催して

組織部長 岩尾 文彦

平成27年11月28日(土) ㈱スズケン名古屋支店にて愛知県臨床検査技師長協議会と共催のもと、38名が集い開催されました。本年度の研修は『臨床検査に迫る国際標準化について』をテーマにお二人の先生にご講演をお願いしました。小山田記念温泉病院の登 勉先生には、“PHCと日本版CLIAの可能性” ㈱CGIの大野紘宇先生には“CAPとISO15189について” 其々最新の情報を踏まえてお話をして頂きました。登先生の講演では、医療における治療は画一的治療から患者や病気の個性による層別化を行い、其々に見合った標的医療を行うことが出来るようになった。これを可能にしたのは、検査精度が飛躍的に高まったことも一つの要因であり、更には、この臨床検査のビックデータを駆使して予後予測や疾患予防を目的とした個別化健康管理へと繋がっていくことが先制医療として整えられていくと述べられました。益々、検査の重要性と共に質の担保が必要になりますが、日本には病院検査室について法律でも規定されていない状況です。USAの検査室はCLIAによって精度保証されており、その認定がなければ検査できない仕組みになっています。日本でも、病院検査室について何らかの規定を設けるべきであると示唆されました。現在、治験はグローバル展開されており、ONE STOP TESTINGを構築することで、治験の効率化や標準化に寄与する事から、平成25年に厚労省の事務連絡で治験における臨床検査等の精度管理について一定の考え方が示唆され、また、平成27年4月に臨床研究中核病院の施設要件に検査室は外部機関からの評価を受けていることが盛り込まれました。これは、CAPやISO15189による認定を示唆しており、大野先生からはその認定の内容について基本となる概念や検査結果をトレースする考え方について分かり易くお話して頂きました。CAPやISOの認定取得如何に関わらず、基本となるQMSは検査をする上で非常に有効なツールとなり、患者さんに精度保証された検査結果を提供することに繋がるので是非、各施設で取り組んで頂きたいと思えます。なお、講演されました登先生は、2016年1月1日から日本臨床検査専門医会・会長に就任されました。今後、様々な場面で協働していくことで先生

から更なるご協力が頂けると幸いです。

最後に、技師長協議会の方々や㈱スズケン様のご協力により研修会が盛会裏に終了しましたので、この紙面をお借りして感謝致します。

用語解説

PHC

(Personalized Health Care)

個別化健康管理

CLIA

(Clinical Laboratory Improvement Amendments of 1988) (CLIA'88)

修正臨床検査室改善法'88

CAP

(College of American Pathologist)

アメリカ臨床病理医協会

ISO15189

(International Organization for Standardization)

臨床検査室 - 品質と能力に関する要求事項 -

QMS (Quality Management System)



愛臨技精度管理「結果検討会」に参加して

医療法人 生生会 まつかげシニアホスピタル 鈴木 剛

平成27年11月5日にウインクあいちにて開催された精度管理結果検討会に参加しました。今回は、参加施設が21施設34名、実務委員30名。計64名による検討会でした。

今回、初めての参加となり、少し緊張した心持ちでの参加でしたが、各部門ごとに、分かれての検討会で、実務委員の方が丁寧で、わかりやすく解説して頂き安心しました。私は、血液のフォトサーベイに参加しましたが、リンパ球系と顆粒系の核網の違いについて、教えて頂きました。精度管理事業部の方、各研究班の担当者の方、親切でわかりやすい対応をして頂きありがとうございました。



平成27年度 尾張北地区・生殖医学研究班合同研修会を終えて

尾張北地区理事 小牧市民病院 臨床検査科 大野 則仁

昨年11月29日(日)に尾張北地区・生殖医学研究班との合同研修会が開催しました。コラボ企画ではありましたが、テーマがふたつということで頭の切り替えが必要だったことと思います。

愛臨技は公益法人格を取得して3年目を迎えておりますが、地区としても広く県民の健康増進および公衆衛生の向上に寄与し、その普及啓発を行う事業の一環として開催している研修会です。

今年度のテーマは、地区より緑内障、そして生殖医学研究班より不妊治療。両テーマとも携わっている検査技師が少ないこと、大学のカリキュラムにも含まれていないこと、そして特に眼科領域についての勉強会については皆無ということで企画しました。

参加者35名、うち会員19名、非会員16名の参加を得ました。非会員のみなさんはメーカーの方が多く、今一步、一般の方へのPR不足を痛感しました。

緑内障については、眼の構造から始まり緑内障は視神経の障害であること、検査測定法について、そして初期症状は極めて少なく完治することは決していないため、早期発見により進行を抑制し視機能維持を図ること、それには健診においての受診率の向上が望まれます。

また不妊治療については、妊娠、不妊とはに始まり、その原因、不妊治療、体外受精、各種疾患、臨

床上の問題点、社会的な問題点等が示され、検査技師が行う不妊領域での業務を明確に講演していただきました。

県民を対象に開催した研修会であったので、解かりやすい言葉で解かりやすく説明していただいたおかげで、少ないながらも一般の方々から“よくわかった”との評価をいただき光栄に思っております。今後も地区に於いてはこの方向性を貫き県民のための研修会開催、かつ会員一人一人の結び付きと繋がり、そして支援できるような活動で検査技師のアピールを…と考えております。



微生物班基礎講座に参加して

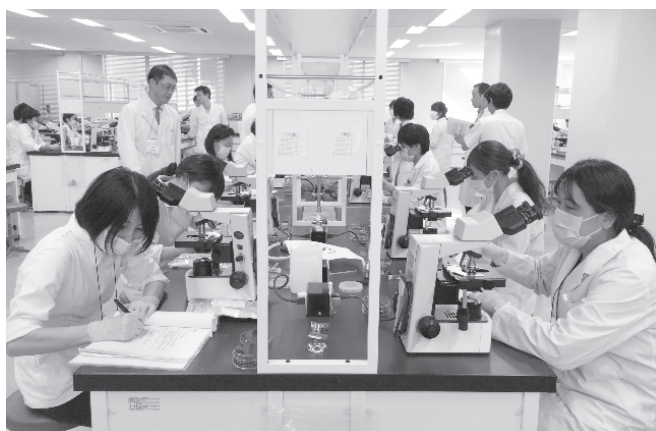
小牧市民病院 小川有里子

私は毎年、微生物班の基礎講座を楽しみにしております。理由は学会や勉強会、講演会などない日常の仕事に役立つ実習講座をしていただけるからです。

自施設の先輩からもこの講座に参加すると自施設のための教育だけでは学ぶことのできない部分を補うことができるし、他施設の先輩達との交流でスキルアップができると教えられています。実際に参加するとその意味がよくわかります。実習では研究班の先生方がおそらく数日前から仕込んだと思われる菌がいろいろな種類の培地に培養されており自施設では行ったことのない検査法なども用意してあります。他に稀にしか遭遇しないような菌も用意してありそれらを自分の目で観察し、わからない部分に関しては少人数制で担当の班員の方が菌の特性や検査の意味、臨床的意義など丁寧に説明してくれます。また、その場だけでなく施設に帰った後も復習し

やすくまとめてあるテキストは私の宝物になっております。

今年度は「徹底的に血液培養 ～生命に関わる検査に携わる～」というテーマで開催され、午前中は検体の採取法から頻出する菌の特徴や迅速検査の意味とそれらの報告方法や考え方の講義、ランチョンでは3種類の自動血液培養装置を販売する会社からの機器の特性の説明でした。ここでは、自分が考える視点だけではなく違う視点からの考え方を学び大きな知識となりました。午後からは期待していた実習で微生物経験4年の私でも十分すぎるくらいボリュームのある内容で各施設の先輩とのコミュニケーションをすることができてとても充実し、少し成長を感じることができました。研究班の方の学んで欲しいという気持ちが伝わるととても素晴らしい基礎講座でした。今後、私も後輩達に参加を勧めたいと思います。



2015年12月10日現在 正会員数 3,070名



※求人情報、理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務局へお問合せください。

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。
会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。
申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

地区研修会・研究会のご案内

尾張南地区・生物化学分析検査研究班合同研修会

専門教科：20点

日時：平成28年2月6日(土) 15:30～17:00

場所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室
名古屋市中区丸の内3-8-5

テーマ：PSAと前立腺癌

講師：藤田保健衛生大学病院泌尿器科

引地 克

司会：藤田保健衛生大学病院 齊藤 翠

内容：前立腺特異抗原 (PSA) の測定は前立腺癌の診断・治療経過等臨床に幅広く活用されています。PSA値が高くなる疾患には前立腺癌・肥大症・炎症などがありPSA値の高さの程度により癌の確率も上がってきます。今回引地先生に最近のPSAの話題、治療法の利点・欠点などを交えご講演して頂きます。尾張南地区と生物化学分析検査研究班の合同開催です。

第33回愛臨技東三河地区研究会

専門教科：20点

日時：平成28年2月20日(土) 15:00～17:30
(受付14:45～)

会場：豊橋市民病院 3階 講堂

テーマ：①「今年度発表された演題を掘り下げて聞いてみよう」

②「臨床検査技師の関わる医療事故について」

講師：①東三河地区担当技師 4題

②成田・長谷川法律事務所

長谷川ふき子 弁護士

司会：豊橋市民病院 山口 育男

参加費：500円

交通：豊橋市民病院HPをご覧ください

内容：

①今年度に発表した一般演題をもう少し掘り下げて発表していただくという企画です。基礎的な内

容を追加して発表していただきます。

②医療事故が注目され、全国的な取り組みが始まりました。国民の権利意識の向上、取り巻く背景の変化により医療や健康診断を提供する施設への期待値が高まってきていることも事実です。今回、弁護士の先生をお迎えして、実際に発生した事例(検体取り違い・セクハラの訴え・電子カルテにおける結果送信)を中心にその事例の考え方、対処方法などを講演していただきます。

西三河地区研修会

専門教科：20点

日時：平成28年2月27日(土) 15:00～17:00

場所：八千代病院 新棟5階会議室

テーマ：危険薬物とその検査

講師：愛知県警 薬物銃器対策課
科学捜査研究所

シスメックス社 学術担当

司会：豊田厚生病院 迫 欣二

内容：危険薬物は覚せい剤や大麻と異なりその種類が大変多く、インターネット上などで大量に流通しており、我々が知らずに手にしてしまう危険さもあります。中には強い中毒症状や呼吸障害を引き起こす薬物も含まれ、死亡例も報告されています。またこうした薬物を使用した犯罪事例も後を絶ちません。今回の研修会では実際の事件捜査を担当される愛知県警の現場捜査官を講師にお迎えし、危険薬物に関する知識や、それに絡む犯罪の動向から実際の検査についてまでお話し頂く予定です。最後に薬物検査キット「トライエージ」についてシスメックス社より解説いただきます。

講演会

輸血検査研究班

「愛臨技精度管理事業報告会」

専門教科：20点

日時：平成28年2月13日(土) 15:00～17:30

場所：名古屋セントラル病院2階多目的ホール

テーマ：輸血検査の精度保証を考えよう

講師：

1) 平成27年度精度管理調査報告
厚生連 豊田厚生病院 原田 康夫

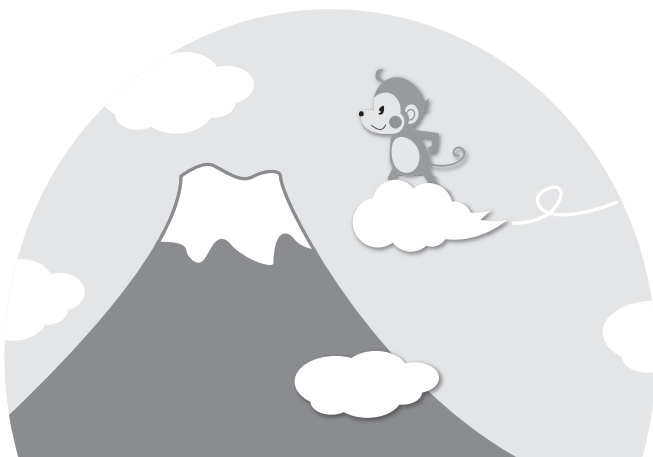
2) 適切な凝集反応を得るために
－反応増強剤の特性と精度保証－
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
株式会社 岩本 泉

3) 不規則抗体検査と統計学的評価
藤田保健衛生大学 長谷川勝俊
司 会：厚生連 海南病院 沖 かずよ

内 容：

- 1) 平成27年度精度管理調査結果をもとに、各施設における輸血検査の現状や検査上注意を要するポイント等を報告します。
- 2) 適切な結果を得るために、反応増強剤や試薬の特性について復習します。
- 3) 不規則抗体検査を確認するとともに推定された不規則抗体の統計学的評価について理解し、演習問題に挑戦してみましよう。電卓を持参してください。

※研究会後、精度管理に関する相談会を開催します。相談のある方は、受付時にお申し出ください。なお、施設別報告書、抗原表、記録簿などの資料を持参してください。



研究会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年2月6日(土) 15:30～18:00

場所：名城病院 地下大会議室

テーマ：『共に考え、精度を保証する』

講演：

1. 平成27年度愛臨技微生物精度管理報告
江南厚生病院 中根 一匡

2. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)の
検出から報告までの標準化をめざして
刈谷豊田総合病院 藏前 仁

司 会：岡崎市保健所 中根 邦彦

内 容：CREをはじめとする多剤耐性菌検出の
検査精度は技師間・施設間の差が生じる
最たるもののひとつです。今回、班員施設よりCREの検出から報告までのフローチャートを持ち寄り、講演内でのディスカッションを予定しております。多くのご参加をお待ちしております。

研究会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年2月13日(土) 15:00～17:00

場所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室
名古屋市中区丸の内3-8-5

テーマ：平成27年度愛臨技精度管理報告

講師：1. 臨床化学部門 精度管理報告
厚生連足助病院 古井 清
厚生連江南厚生病院 林 克彦

2. 免疫血清部門 精度管理報告
厚生連安城更生病院 鈴木 美穂

3. 腎臓のしくみと電解質
藤田保健衛生大学病院腎内科
志貴 知彦

司 会：名古屋大学医学部附属病院 有馬 武史
名古屋掖済会病院 岡本 明紘

内 容：平成27年度愛知県精度管理調査の解析結果について詳細報告します。また、特別講演では、腎臓のしくみとともに水電解質異常へのアプローチのしかたをご講演いただきます。多くの方の参加をお待ちしております。

研究会

一般検査研究班

基礎教科：20点

日時：平成28年2月13日(土) 15:00～17:00

場所：JA愛知厚生連 豊田厚生病院
豊田市浄水町伊保原500-1

(名鉄豊田線「浄水駅」より徒歩5分)

テーマ：①「研究会・基礎講座のアンケート結果」
②「愛臨技精度管理調査報告」

講師：①国立病院機構 名古屋医療センター
石田 容子

②名古屋大学医学部附属病院

岩崎 卓識

②岡崎市医師会公衆衛生センター

畔柳 里美

②JA愛知厚生連 足助病院 塩谷 里実

②豊川市民病院 永井 君子

②医療法人 青山病院 平田 基裕

司会：特定医療法人衆済会 増子記念病院

平田 弘美

内容：平成27年度の愛臨技精度管理調査の報告を行います。結果の報告だけでなく、尿定性の注意事項、便潜血については測定方法から問題解決の方法、フォトサーベイについては成分の見方、考え方から類似の成分との鑑別方法など、詳細に解説していただきます。サーベイに参加していない施設の方も参加して頂けます。

研究会

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年2月13日(土) 15:00～17:00

場所：スズケン名古屋支店 2F 会議室

テーマ：「HER2-FISHの現状」

講師：

1. 「HER2-FISH検査における画像解析装置を用いた自動カウントの能否の現状」

名古屋第二赤十字病院 岩田 英紘

2. 「FISH解析の標準化を考える」

名古屋第一赤十字病院 郡司 昌治

司会：JA愛知厚生連江南厚生病院

千田 美歩

研究会

血液検査研究班

基礎教科：20点

日時：平成28年2月20日(土) 15:00～17:00

場所：オフィスパーク伏見・りそな名古屋ビル
8F 会議室 8A

名古屋市中区錦2-15-22

(地下鉄「伏見駅」1番出口徒歩1分)

テーマ：1. 精度管理報告会

2. CML治療の最近の動向について

3. Major bcr/abl mRNA IS測定キットの紹介および話題提供

講師：1. 血球計数部門報告

江南厚生病院 川崎 達也

形態部門報告

藤田保健衛生大学病院 佐藤 聖子

2. ブリストル・マイヤーズ株式会社

名古屋学術1課 安武 英和

3. 大塚製薬株式会社

企画部製品企画課 山本 剛士

司会：愛知県がんセンター中央病院

田中 里枝

研究会

生理検査研究班

基礎教科：20点

日時：平成28年2月20日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学医学研究科 医学部研究棟11階講義室B

テーマ：平成27年度愛臨技サーベイ解説

講師：1. 愛臨技精度管理調査報告

中京病院 加藤 鮎美

2. 心電図

大同病院 野呂 美幸

3. 脳・神経生理

西尾市民病院 鈴木 更織

4. 肺機能

愛知医科大学病院 井上真由利

5. 心・血管エコー

津島市民病院 山梶 恵美

6. 腹部・表在エコー

豊田厚生病院 永田 篤志

司会：藤田保健衛生大学

刑部 恵介

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 平成27年度臨時総会議決権行使のお願い

日臨技理事 中井 規隆

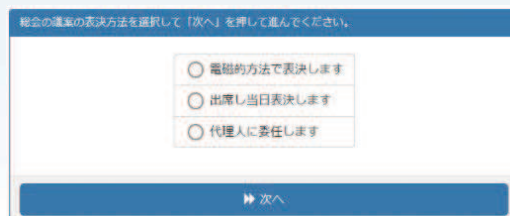
平素は日臨技事業へご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

会員の皆さまには「平成27年度臨時総会招集ご通知」がお手元に届いていることと思います。この臨時総会開催は平成27年5月に開催された定時総会において定款・諸規定の変更を提案しましたが、残念ながら総会出席数が定款変更に必要な数に届かず審議に至らなかったことによるものです。

今回の臨時総会の議案は、第1号議案が「定款の変更について」、第2号議案が「役員報酬等及び費用に関する規定の改正について」です。定款の変更については現定款がモデル定款（内閣府発行）を参照し作成しており、会の運営上で諸点において適さない事項や機動的に組織運営するために必要な事項等の変更の提案です。役員報酬に関しては、日臨技において監事の報酬についての明確な規定がありませんでしたので、これを規定する旨のものです。詳細についてはお手元の通知案内を参照してください。

定款の変更は、定款第50条の定めにより「総会において、総正会員数の半数以上であって、総正会員数の議決権の3分の2以上の議決により変更することができる」となっています。会員の皆さまには必ず正会員として議決権を行使していただきたいと思っております。

議決権行使の方法は、①総会に出席する、②書面（はがき）による行使、③Webでの電磁的方法による行使、④代理人に委任して行使の4つがあります。先回の総会から開始しましたWebによる方法は、①簡便②経費削減③作業効率向上④登録ミス防止など多くのメリットがあります。是非、電磁的方法を利用していただくようお願い申し上げます。またパスワードがわからない会員の方も仮のパスワードが発行され、議決権行使書に記載されております。また、スマートフォン等からも行使が可能です。



【締切り】

書面：1月22日必着

Web：1月22日午後3時



日臨技ホームページ：

<http://www.jamt.or.jp>

電磁的方法による行使サイト：

<https://jamtjamtis.jamt.or.jp/JamtisPoll/>